

大分大学医学部附属病院
看護師の特定行為研修

受講者募集要項
(令和5年度 4月期生)

大分大学医学部附属病院

1. 特定行為研修の目的

本研修の目的は、大分大学医学部附属病院の理念・基本方針ならびに特定行為研修の基本理念に基づき、高度医療及び地域医療の現場において「患者本位の最良の医療」を実践するため、『高い倫理観を有し、チーム医療のキーパーソンとして医療安全に配慮し、高度な臨床能力を発揮できる』看護師を育成することである。

2. 特定行為研修の目標

特定行為研修を通じて次のような能力を有する看護師の育成を目標とする

1. 高度医療及び地域医療の現場において、それぞれの患者に応じた包括的なアセスメントが迅速にできる能力を養う。
2. 高度医療及び地域医療の現場において、適切な特定行為を行う上で、必要な知識、技術および態度についての基礎的能力を養う。
3. 高度医療及び地域医療の現場において、患者の安全に配慮しつつ、最適な特定行為を実施できる能力を養う。
4. 高度医療及び地域医療の現場において、問題解決にむけて、多職種と効果的に協働できる能力を養う。
5. 自らの看護実績を顧みて、標準化する能力を養う。

3. 修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たすこと。

- 1) 共通科目を全て履修し、筆記試験及び観察評価に合格すること。
- 2) 1) 修了後、選択した領域の区分別科目を履修し、一部の科目で実技試験に合格すること。

※本研修修了者には、保健師助産師看護師法第 37 条の 2 第 2 項 第 1 号に規定する特定行為及び同項第 4 号に規定する特定行為研修に関する省令に基づき、修了した特定行為区分の修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出する。

4. 定員

定員： 8 名（うち4名は大分大学医学部附属病院に勤務する看護師に限る）

領域名	定員
術中麻酔管理領域	4名
救急領域	4名

5. 研修期間と募集時期

研修期間： 1 年

共通科目を修了後に選択した領域の区分別科目を受講開始する。

なお、在籍期間は、最長 2 年間とする。

募集時期 年1回(3月)

6. 研修内容と時間数

研修は、共通して学ぶ「共通科目」と領域別に定められた特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれており、講義、演習または実習によって行われる。

1) 共通科目(必修科目): 特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目(研修期間:6か月)

科目	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
臨床病態生理学	29	1	—	1	31
臨床推論	26.5	16	1	1.5	45
フィジカルアセスメント	17.5	2	17.5	8	45
臨床薬理学	32.5	11.5	—	1	45
疾病・臨床病態概論	37	3	—	1	41
医療安全学/特定行為実践	22.5	17	3.5	2	45
合計	165	50.5	22	14.5	252

* 共通科目の修了要件は以下のとおり

e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する。演習は関連するe-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。実習は関連する講義・演習を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。その後、科目修了試験に合格する。

2) 区分別科目(必修科目):

各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目(研修期間:6か月)

※パッケージ研修は、2つの領域を同時に受講することはできません。

《術中麻酔管理領域》(注1)

特定行為区分	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	8	—	5 症例	1 (OSCE)	9+ 5 症例
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	12.5	3	各 5 症例	1.5	17+ 各 5 症例
動脈血液ガス分析関連	11.5	—	各 5 症例	1.5 (OSCE)	13+ 各 5 症例
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	9	1	5 症例	1	11+ 5 症例

術後疼痛管理関連	5.5	1.5	5 症例	1	8+ 5 症例
循環動態に係る薬剤投与 関連	8.5	2	5 症例	1.5	12+ 5 症例

※OSCE による評価は、時間数に含めない

《救急領域》(注1)

特定行為区分	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	8	—	5 症例	1 (OSCE)	9+ 5 症例
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	20.5	6	各 5 症例	2.5	29+ 各 5 症例
動脈血液ガス分析関連	11.5	—	各 5 症例	1.5 (OSCE)	13+ 各 5 症例
栄養及び水分管理に係る 薬剤投与関連	9	1	5 症例	1	11+ 5 症例
精神及び神経症状に係る 薬剤投与関連	10.5	2	5 症例	1.5	14+ 5 症例

※OSCE による評価は、時間数に含めない

* 区分別科目の修了要件は以下のとおり

e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する。演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。実習(患者に対する実技)は関連する講義・演習(ペーパーシミュレーション)・手技練習(模擬患者の活用、シミュレーターの利用等のシミュレーションによる学習)を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。OSCE のある科目に関しては、実習(患者に対する実技)の前に OSCE に合格する必要がある。その後、修了試験に合格する。

7. 受講モデル

研修の進捗表(作成中)を参照。

年度の上半期(4~9月)に共通科目、下半期(10~3月)に区分別科目を受講

8. 受講資格

次の①から⑤のいずれの要件も満たす看護師であること

①看護師免許を有すること

- ②看護師の免許取得後、通算5年以上の看護実務経験を有すること
- ③所属機関の長の推薦を有すること
- ④所属機関から、特定行為の実践・協力が得られ、また、時短労働や休日の確保など学業優先で受講することへの協力が得られていること
- ⑤原則、自施設での臨地実習を行うことができること

9. 出願手続き

【提出書類】

- 1) 願書
 - 2) 履歴書
 - 3) 入講志願理由書
 - 4) 推薦書
 - 5) 緊急連絡先届
 - 6) 職務経歴書
 - 7) 看護師免許(写)※A4サイズ
- ※提出の書類の返却は対応せず。

【出願期間】

令和5年3月6日(月) ~ 令和5年3月10日(金)

【送付先】

〒879-5593

大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地
大分大学医学部附属病院 看護師特定行為統括センター
(総務課卒後臨床研修係内)

※必ず「郵便書留」で送付するか、直接持参のこと。

電話:097-586-6344 問合せ窓口: 看護師特定行為統括センター
(総務課卒後臨床研修係内)

10. 選考方法

書類選考により行う。選考結果については、本人宛て簡易書留速達にて郵送予定。
電話やFAXでの合否の問い合わせ不可。

11. 受講手続きと納付金について

受講手続き詳細については以下参照のこと。なお、納付金(消費税込)は、受講手続き終了後、本院から送付する納付書に基づき、振込むこと。

受講手続き期間 令和5年3月27日(月) ~ 令和5年3月30日(木)

納付金 術中麻酔管理領域 685,100円(消費税込)

救急領域 703,900円(消費税込)

※収めた受講料は原則として返還しません。

※研修のための宿泊及び交通費等は各自にて実費負担となります。

12. その他

(注1) 「術中麻酔管理領域」「救急領域」については現在申請中です。

2023年2月に開講の可否が決定次第、本院看護師特定行為研修センターホームページにて掲載いたします。

個人情報の取り扱いについて

大分大学医学部附属病院では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願および受講手続きにあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続により開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

募集受講生の今後の日程(目安)

令和5年4月3日 入講式・オリエンテーション

令和5年4月3日 共通科目受講開始

令和5年9月中旬 共通科目修了判定

令和5年10月1日 区分別科目受講開始

令和6年3月中旬 区分別科目修了判定・修了式

アクセス



大分大学医学部附属病院（挾間 キャンパス）

所在地 〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地

交通アクセス

<バス利用>〔中央通り②のりば（トキハデパート前）〕又はJR大分駅府内中央口（北口）

〔大分駅前5番のりば〕から「大学病院」行き又は「大学病院経由」を利用（約40分）、

「大学病院」下車（詳細は時刻表で確認してください。）

〒879-5593

大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地

大分大学医学部附属病院 看護師特定行為統括センター

（総務課卒後臨床研修係内）

TEL. 097-586-6344